

e-35) カミヤササコクゾウムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-13(30)に示す。

本種については、詳細な位置情報等の記録がないが、東畑瀬集落南周辺において記録がある。

本種は、枯れ竹に集まる⁵³⁾。

生態情報から、本種は、主に竹林に生息すると考えられる。

なお、本種の確認地点である東畑瀬集落南周辺の一部及び本種の生息環境である竹林の一部は、既に道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された東畑瀬集落南周辺の大部分は、施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である竹林は、一部が建設発生土の処理、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、土捨場の跡地、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には消失する生息環境と同様の竹林が残存することから、本種の生息は維持されると考えられる。

ii) 直接改変以外

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物付近の環境の変化による生息環境の変化

対象事業の実施に伴う改変部周辺では、本種の主な生息環境である竹林の一部は変化する可能性があり、本種の生息環境として適さなくなる可能性がある。

しかし、調査地域周辺には変化が想定される生息環境と同様の竹林が残存す

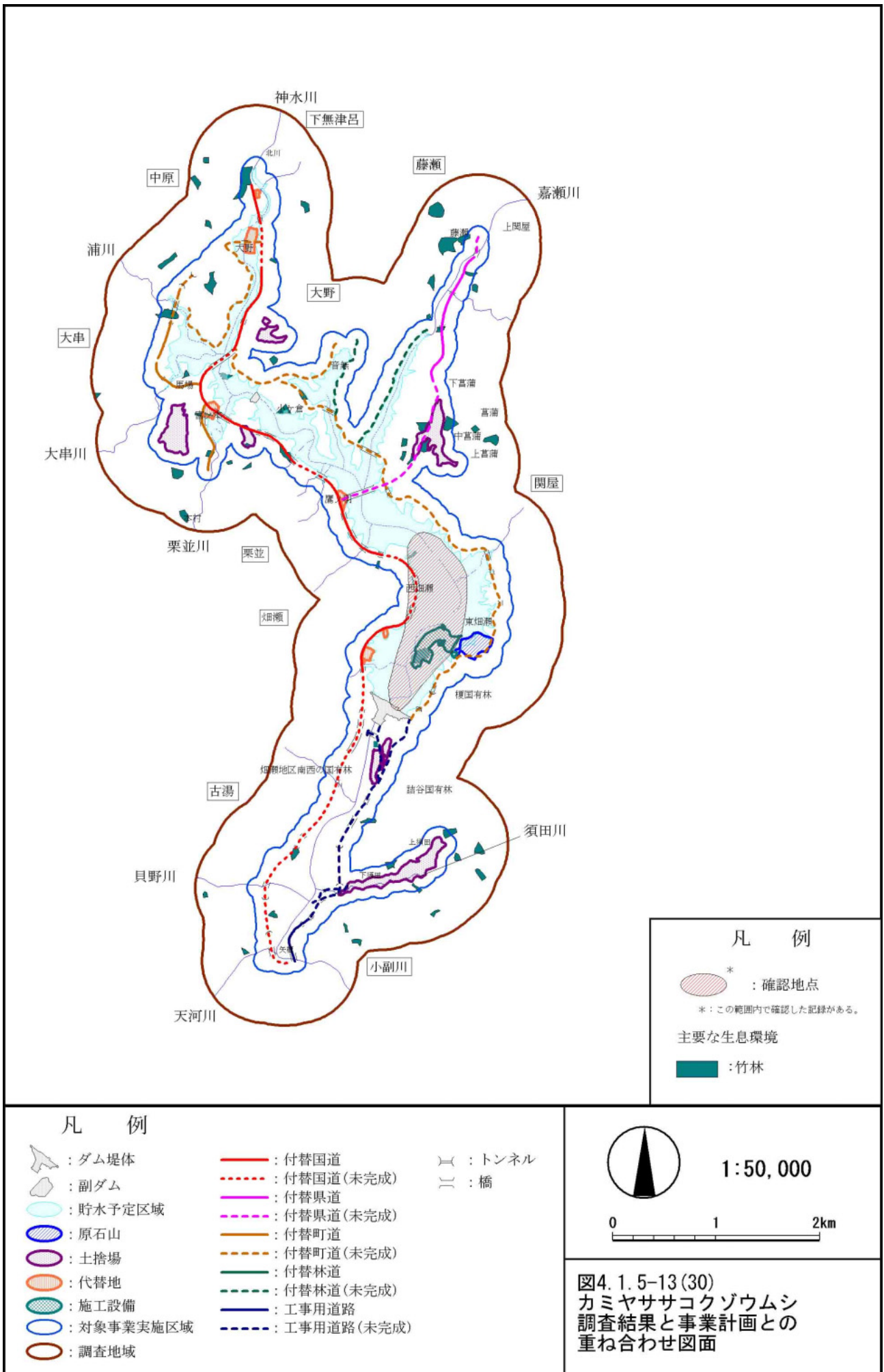
ることから、本種の生息は維持され则认为られる。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると认为られるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと认为られる。

本種の生息環境である竹林の一部は、対象事業の実施による建設発生土の処理等の工事及び貯水池の出現により消失し、改変部付近は環境の変化が予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である竹林が残存することから、本種の生息は維持され则认为られる。



f) 底生動物の重要な種

f-1) モノアラガイ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(1)に示す。

本種は、嘉瀬川の菖蒲橋から鷹ノ羽橋の間1地点、湯の原集落周辺1地点、昭和橋付近2地点、渡月橋上流1地点、川上頭首工上流1地点及び下流8地点、石井樋下流7地点、池森橋付近2地点及び上流1地点、嘉瀬大橋付近9地点、合計33地点で生息が確認された。また、文献⁵⁶⁾⁵⁷⁾において嘉瀬川の畑瀬橋付近1地点、川上川第一発電所付近1地点、嘉瀬大橋付近1地点、合計3地点で確認された記録がある。

本種は、小川、川の淀み、池沼、水田等の水草や礫に付着している⁵⁵⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に水田及び流れが緩やかな河川の中、下流部に生息すると考えられる。

なお、本種の生息環境である水田、嘉瀬川の緩流部及び水際の一部は、既に工事用道路の設置、道路の付替及び代替地の造成の工事により改変されている。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、嘉瀬川の湯の原集落周辺1地点、昭和橋付近2地点、川上川第一発電所付近1地点、渡月橋上流1地点、川上頭首工上流1地点及び下流8地点、石井樋下流7地点、池森橋付近2地点及び上流1地点、嘉瀬大橋付近10地点、合計34地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、嘉瀬川の菖蒲橋から鷹ノ羽橋の間1地点、畑瀬橋付近1地点、合計2地点は、貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である水田、嘉瀬川の緩流部及び水際は、一部が

ダムの堤体、副ダムの堤体、施工設備及び工事用道路の設置、建設発生土の処理、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、ダムの堤体、副ダムの堤体、土捨場の跡地、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、本種は池沼や淀みに生息することから、ダム供用開始後も現況同様に生息できると考えられる。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認されたダム下流の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する場合がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する場合があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

・冠水頻度の変化

冠水頻度の変化により本種の生息環境である水際が変化する可能性がある。

しかし、「4.1.7 生態系」における冠水頻度の変化の予測によると、ダム下流の河川敷での1/4確率以下の流況における冠水頻度は、現況と同様であると予測される。このことから、冠水頻度の変化による本種の生息環境である水際の変化は小さいと予測される。

・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化する可能性があるとして予測される。

「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

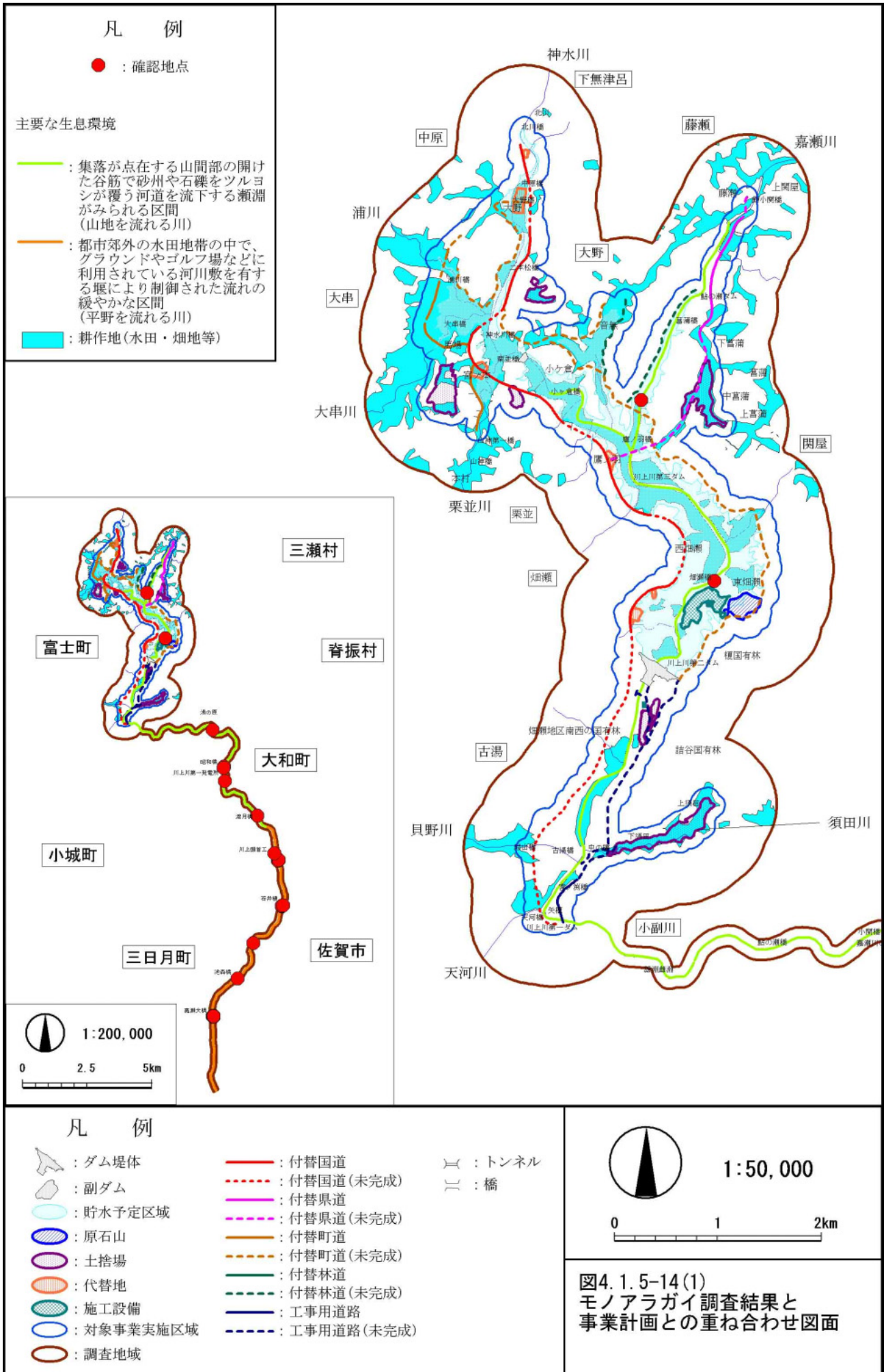
本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境である水田、嘉瀬川の緩流部及び水際の一部は、対象事業の実施によるダムの堤体等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、本種は池沼や淀みに生息することから、ダム供用開始後も現況同様に生息できると考えられる。

また、工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化、冠水頻度の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されることが考えられる。



f-2) ムカシトンボ(幼虫)

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(2)に示す。

本種は、関屋地区の東畑瀬集落周辺1地点、栗並地区の鷹ノ羽集落西の沢沿い1地点、畑瀬地区の西畑瀬集落南の沢2地点、古湯地区の松森稻荷大明神の南の沢沿い1地点、神水川の北川橋下流1地点、浦川の松野集落北側周辺2地点、浦川橋付近1地点、合計9地点で生息が確認された。

本種は、山間の森林に囲まれた急流に生息するが産地はかなり局地的である³¹⁾。幼虫は急流の早瀬の石下等で石にへばりついて生活する³¹⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に源流部に生息すると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、浦川の松野集落北側周辺2地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、関屋地区の東畑瀬集落周辺1地点、栗並地区の鷹ノ羽集落西の沢沿い1地点、畑瀬地区の西畑瀬集落南の沢2地点、古湯地区の松森稻荷大明神の南の沢沿い1地点、神水川の北川橋下流1地点、浦川の浦川橋付近1地点、合計7地点は、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である源流部は、一部がダムの堤体、施工設備及び工事用道路の設置、建設発生土の処理、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、ダムの堤体、土捨場の跡地、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、調査地域周辺には本種の生息環境である源流部は上流に連続して分布することから、本種の生息は維持され则认为られる。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

iii) まとめ

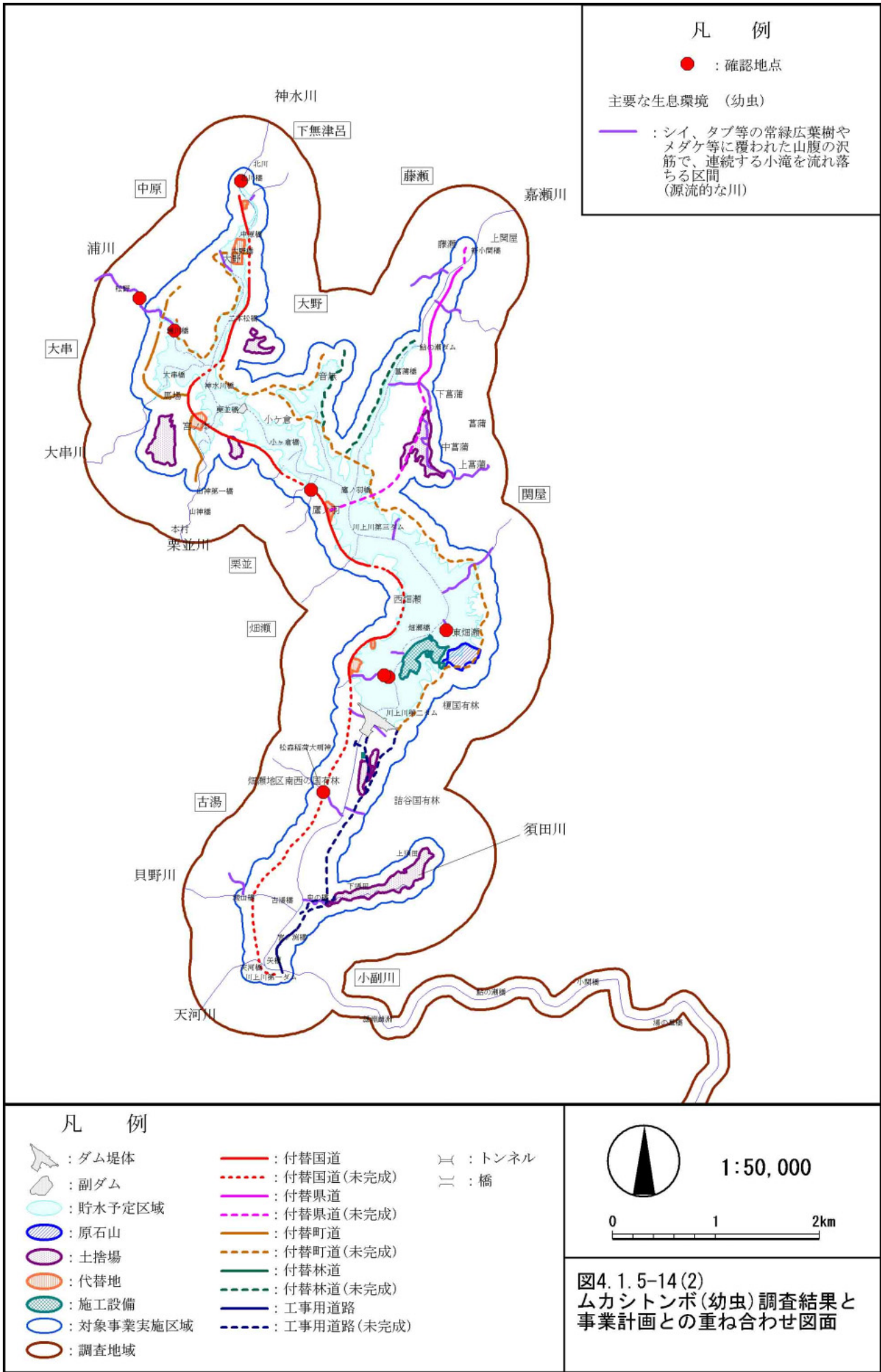
本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種の生息環境である源流部の一部は、対象事業の実施によるダム の 堤体等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、調査地域周辺では本種の生息環境である源流部は上流に連続して分布しており、本種は環境の変化に応じて移動するものと考えられ、本種の生息は維持されると考えられる。

また、工事の実施に伴う水質の変化の影響は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



f-3) ホンサナエ(幼虫)

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(3)に示す。

本種は、嘉瀬川の石井樋下流1地点、嘉瀬大橋付近1地点、合計2地点で生息が確認された。

本種は、平地や丘陵地、低山地の流れに生息し³¹⁾、幼虫は緩やかな流れの挺水植物の根方や植物性沈積物のある淵や淀みで泥に潜って生活している³¹⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に流れが緩やかな嘉瀬川の中、下流部に生息すると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認されたダム下流の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する可能性がある。しかし、冬季から春季にかけて、

水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する場合があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

- ・冠水頻度の変化

冠水頻度の変化により本種の生息環境が変化する可能性がある。

しかし、「4.1.7 生態系」における冠水頻度の変化の予測によると、ダム下流の河川敷での1/4確率以下の流況における冠水頻度は、現況と同様であると予測される。このことから、冠水頻度の変化による本種の生息環境の変化は小さいと予測される。

- ・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。

「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

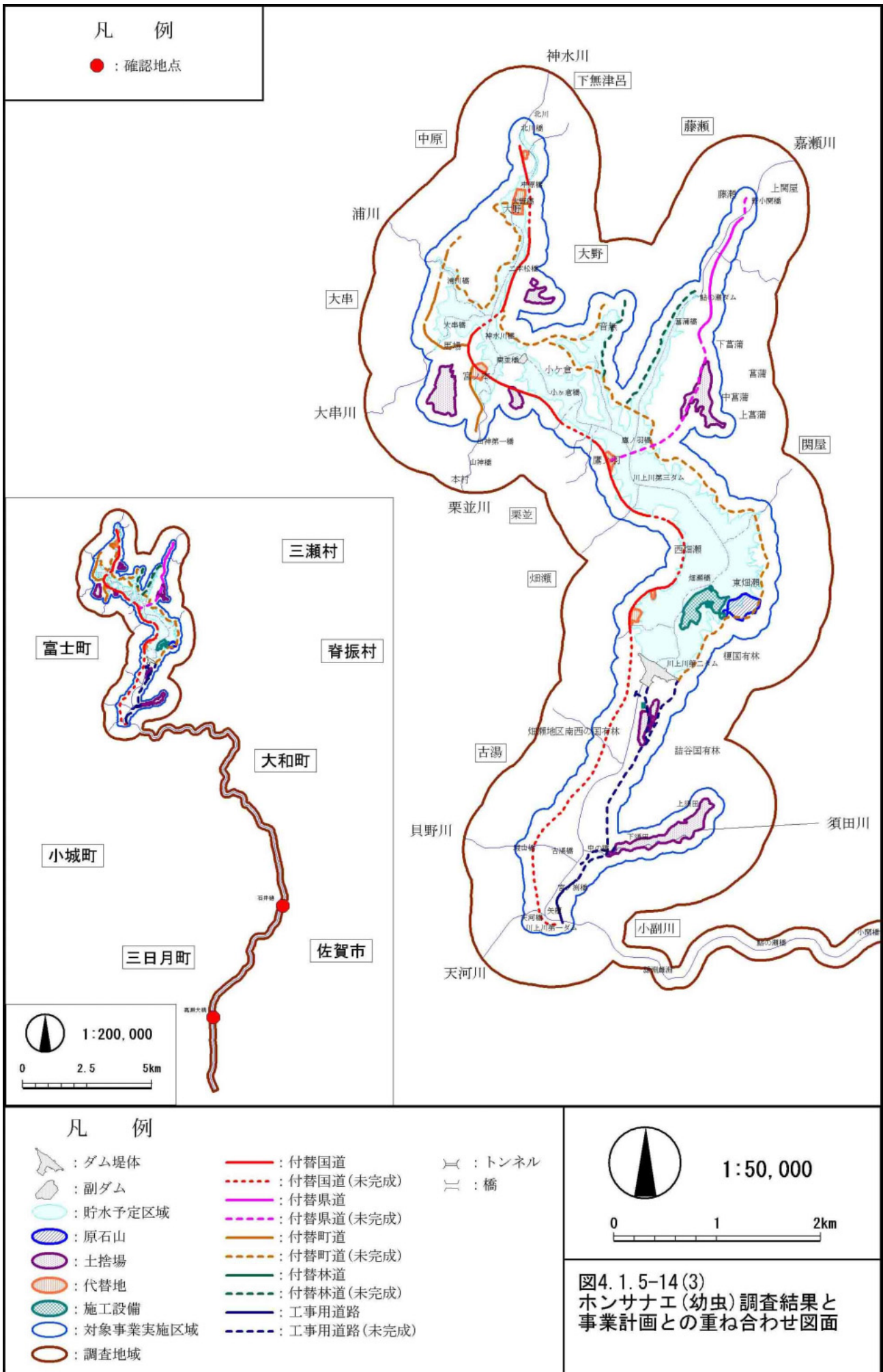
このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

- iii) まとめ

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化、冠水頻度の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



f-4) アオサナエ(幼虫)

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(4)に示す。

本種は、嘉瀬川の内野集落周辺1地点、昭和橋付近1地点、渡月橋上流1地点、石井樋下流4地点、合計7地点で生息が確認された。また、文献⁵⁸⁾において嘉瀬川の川上川第一発電所付近1地点で確認された記録がある。なお、平成14年度の調査において、神水川の小ヶ倉橋付近で成虫が1個体確認された。

本種は、主に平地や丘陵地、低山地の清流に生息し、幼虫は砂礫底に潜んで生活している³¹⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に流れが緩やかな嘉瀬川の中、下流部に生息すると考えられる。また、専門家への聴取により、本種は主に下流部に生息する種であり、対象事業実施区域及びその周辺の区域は主な生息域ではないとの情報を得た。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

対象事業実施区域及びその周辺の区域は主な生息域ではないという専門家の意見から、本種に対する対象事業の実施に伴う直接改変による生息地の消失又は改変の影響は想定されない。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

【土地又は工作物の存在及び供用】

- ・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認されたダム下流の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する場合がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する場合があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

- ・冠水頻度の変化

冠水頻度の変化により本種の生息環境が変化する可能性がある。

しかし、「4.1.7 生態系」における冠水頻度の変化の予測によると、ダム下流の河川敷での1/4確率以下の流況における冠水頻度は、現況と同様であると予測される。このことから、冠水頻度の変化による本種の生息環境の変化は小さいと予測される。

- ・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

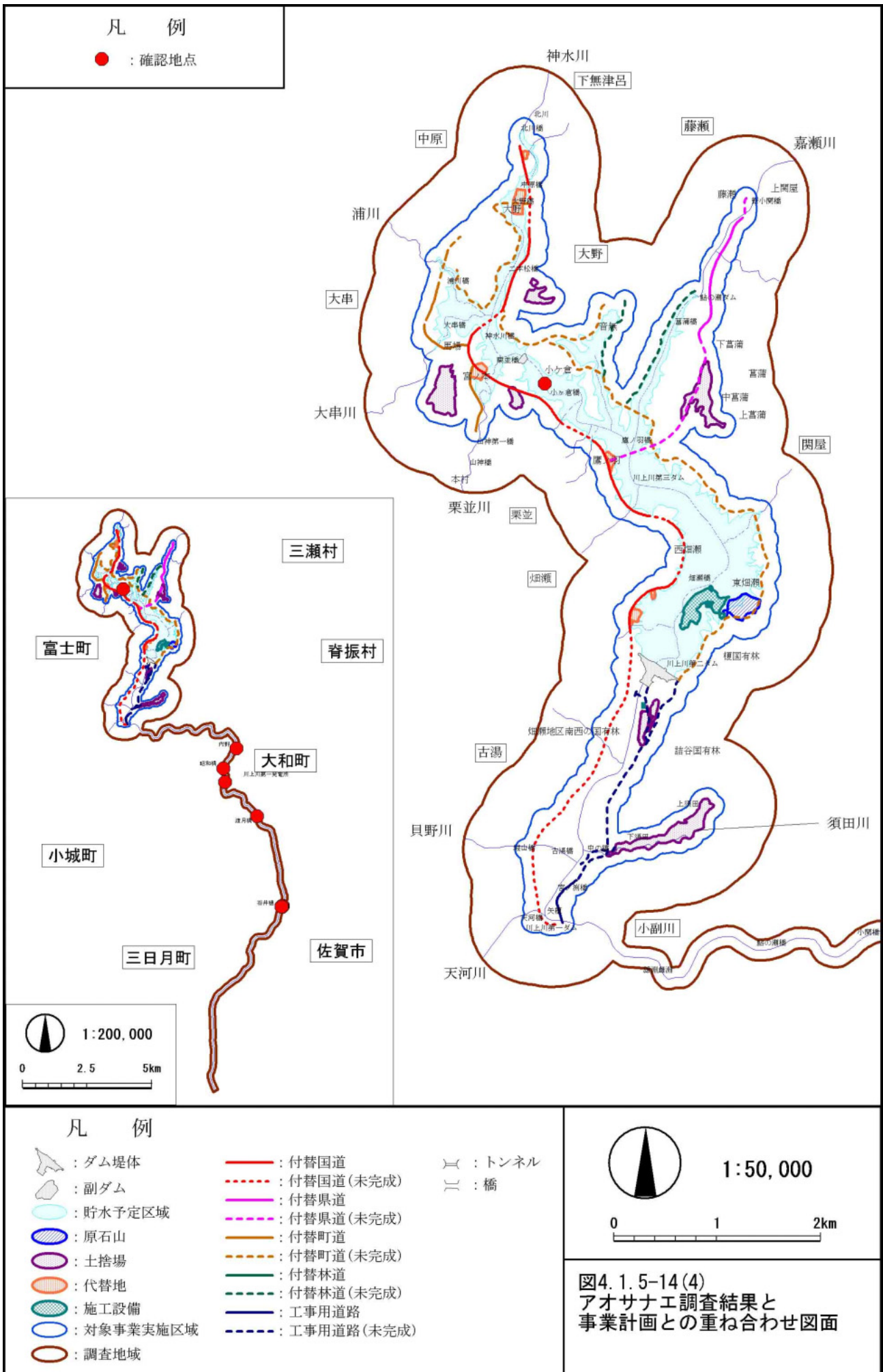
iii) まとめ

本種の生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化、冠水頻度の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度

は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されと考えられる。



f-5) キイロヤマトンボ(幼虫)

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(5)に示す。

本種は、嘉瀬川の石井樋下流2地点で生息が確認された。

本種は、主に丘陵地や低山地を流れる清流の周辺に生息し、幼虫は緩やかな流れの砂底あるいは砂礫底の凹みにうずくまっている³¹⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に流れが緩やかな嘉瀬川の中、下流部の砂底に生息すると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認されたダム下流の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する可能性がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がや

や低下する可能性があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

- ・冠水頻度の変化

冠水頻度の変化により本種の生息環境が変化する可能性がある。

しかし、「4.1.7 生態系」における冠水頻度の変化の予測によると、ダム下流の河川敷での1/4確率以下の流況における冠水頻度は、現況と同様であると予測される。このことから、冠水頻度の変化による本種の生息環境の変化は小さいと予測される。

- ・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。

「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

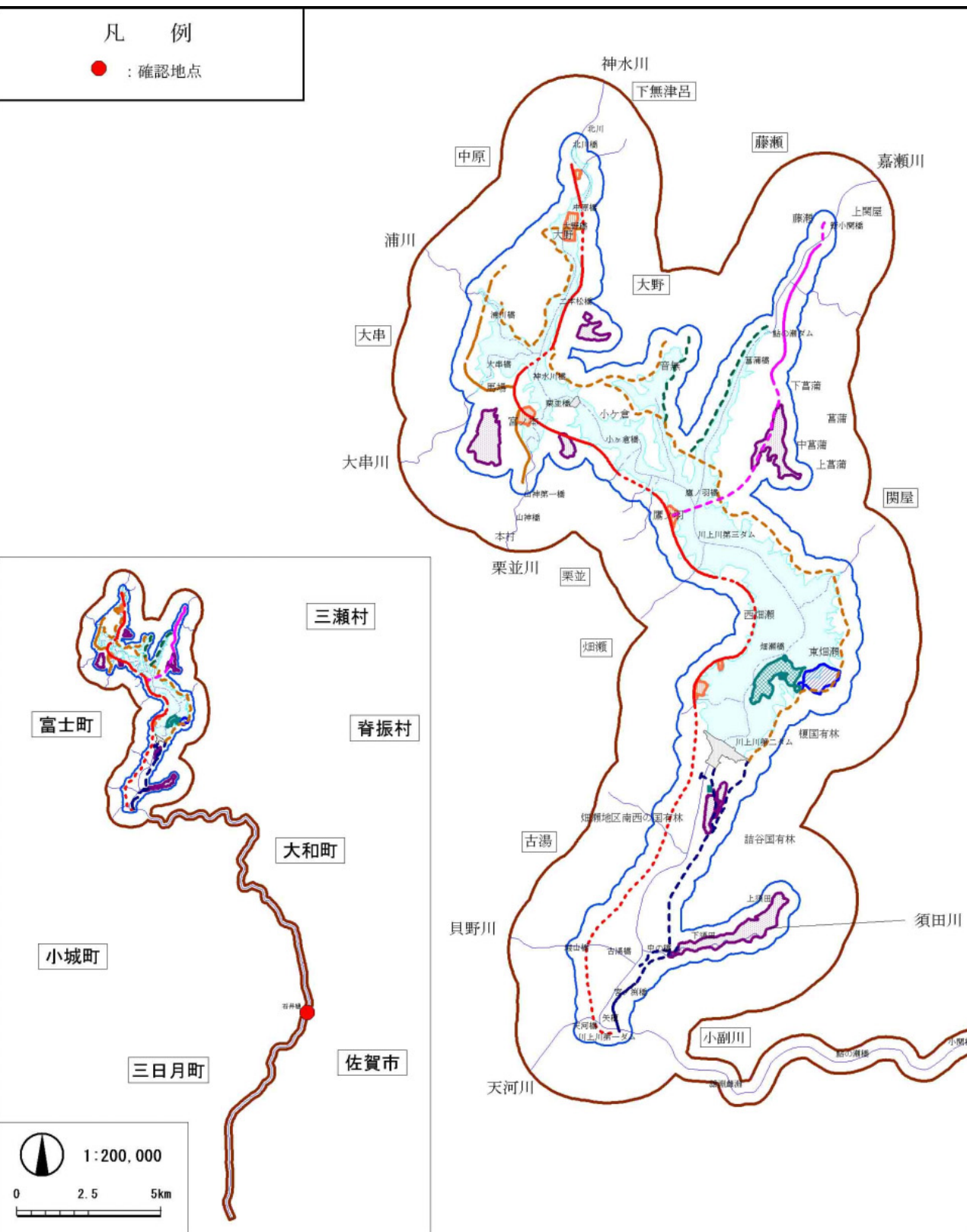
本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化、冠水頻度の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。






















これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。

凡 例

● : 確認地点



凡 例

-  : ダム堤体
-  : 副ダム
-  : 貯水予定区域
-  : 原石山
-  : 土捨場
-  : 代替地
-  : 施工設備
-  : 対象事業実施区域
-  : 調査地域
-  : 付替国道
-  : 付替国道(未完成)
-  : 付替県道
-  : 付替県道(未完成)
-  : 付替町道
-  : 付替町道(未完成)
-  : 付替林道
-  : 付替林道(未完成)
-  : 工事用道路
-  : 工事用道路(未完成)
-  : トンネル
-  : 橋



1:50,000

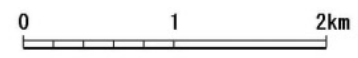


図4.1.5-14(5)
キイロヤマトンボ(幼虫)
調査結果と事業計画との
重ね合わせ図面

f-6) コオイムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(6)に示す。

本種は、嘉瀬川の川上頭首工下流1地点で生息が確認された。

本種は、小川、谷津田、池沼、水田等の一般に流れの緩やかな浅い場所に生息している⁵⁵⁾。

生態情報及び確認状況から、本種は主に嘉瀬川下流部の水際部の抽水植物帯等、流れの緩やかな水域に生息すると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

【土地又は工作物の存在及び供用】

・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認されたダム下流の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する可能性がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がや

や低下する場合があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

- ・冠水頻度の変化

冠水頻度の変化により本種の生息環境が変化する可能性がある。

しかし、「4.1.7 生態系」における冠水頻度の変化の予測によると、ダム下流の河川敷での1/4確率以下の流況における冠水頻度は、現況と同様であると予測される。このことから、冠水頻度の変化による本種の生息環境の変化は小さいと予測される。

- ・河床の変化

河床の変化により、本種をはじめ餌生物である水生昆虫類の生息状況が変化すると予測される。「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

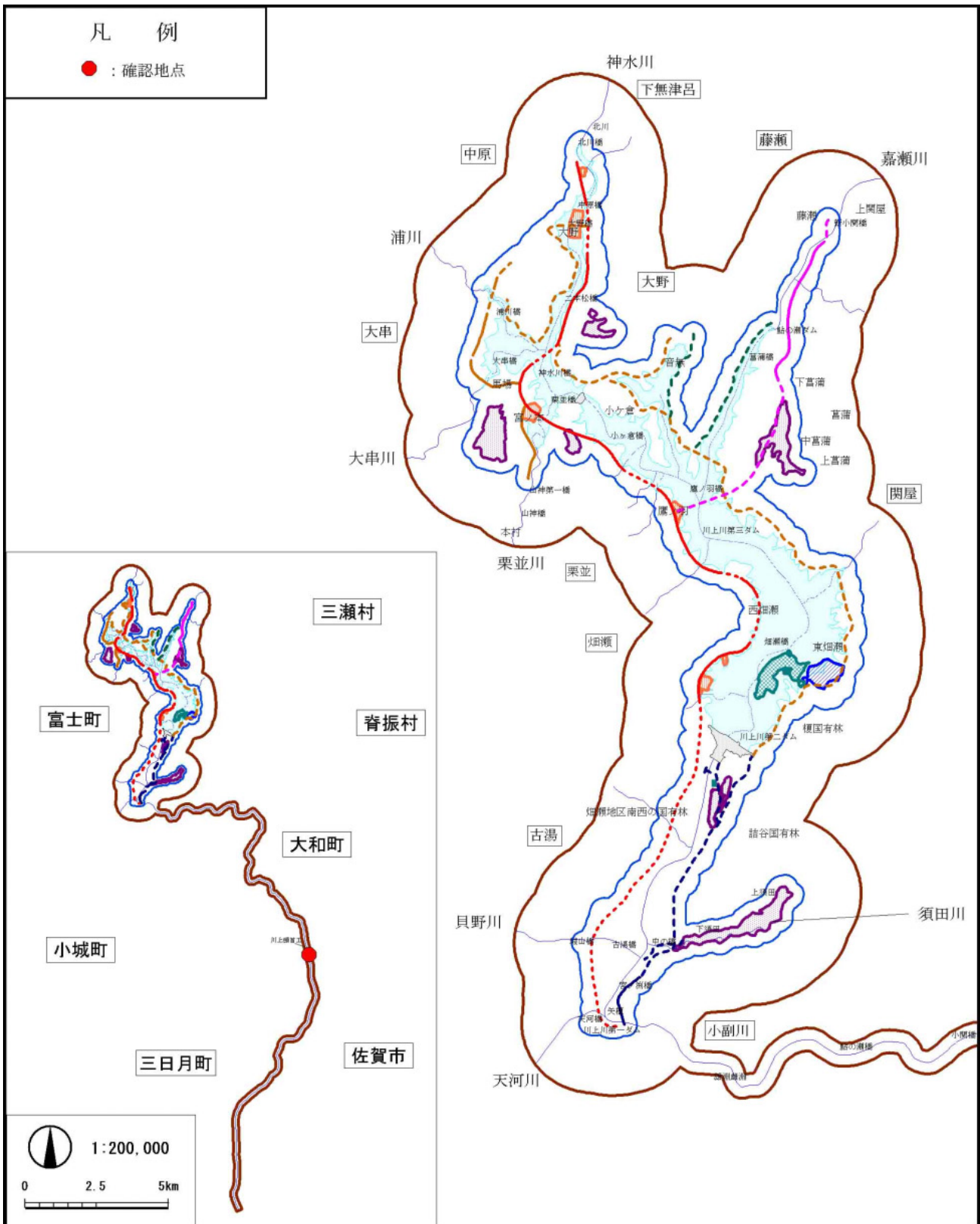
このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化、冠水頻度の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



f-7) トゲナベブタムシ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(7)に示す。

本種は、文献⁵⁸⁾⁵⁹⁾⁶⁰⁾において嘉瀬川の畑瀬橋付近 2 地点、川上川第一ダム上流周辺 1 地点、合計 3 地点で確認された記録があるが、現地調査では確認されていない。また、佐賀県内では、佐賀市多布施川⁶⁾における記録がある。

生態情報及び確認状況から、本種は下流の多布施川を主な生息地としていると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、嘉瀬川の川上川第一ダム上流周辺 1 地点は、対象事業の実施による改変部の範囲に位置しない。

一方、嘉瀬川の畑瀬橋付近 2 地点は、貯水池の出現により消失する。しかし、本種の主な生息地は多布施川であることから、本種の生息は維持されることが考えられる。

ii) 直接改変以外

本種の主な生息地である多布施川は、工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化及び河床の変化の影響が想定される範囲に位置しないため、これらの影響は想定されない。

iii) まとめ

本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられるが、対象事業の実施が生息に与える影響は小さいと考えられる。

本種が確認された地点の一部は、対象事業の実施による貯水池の出現により消失する。

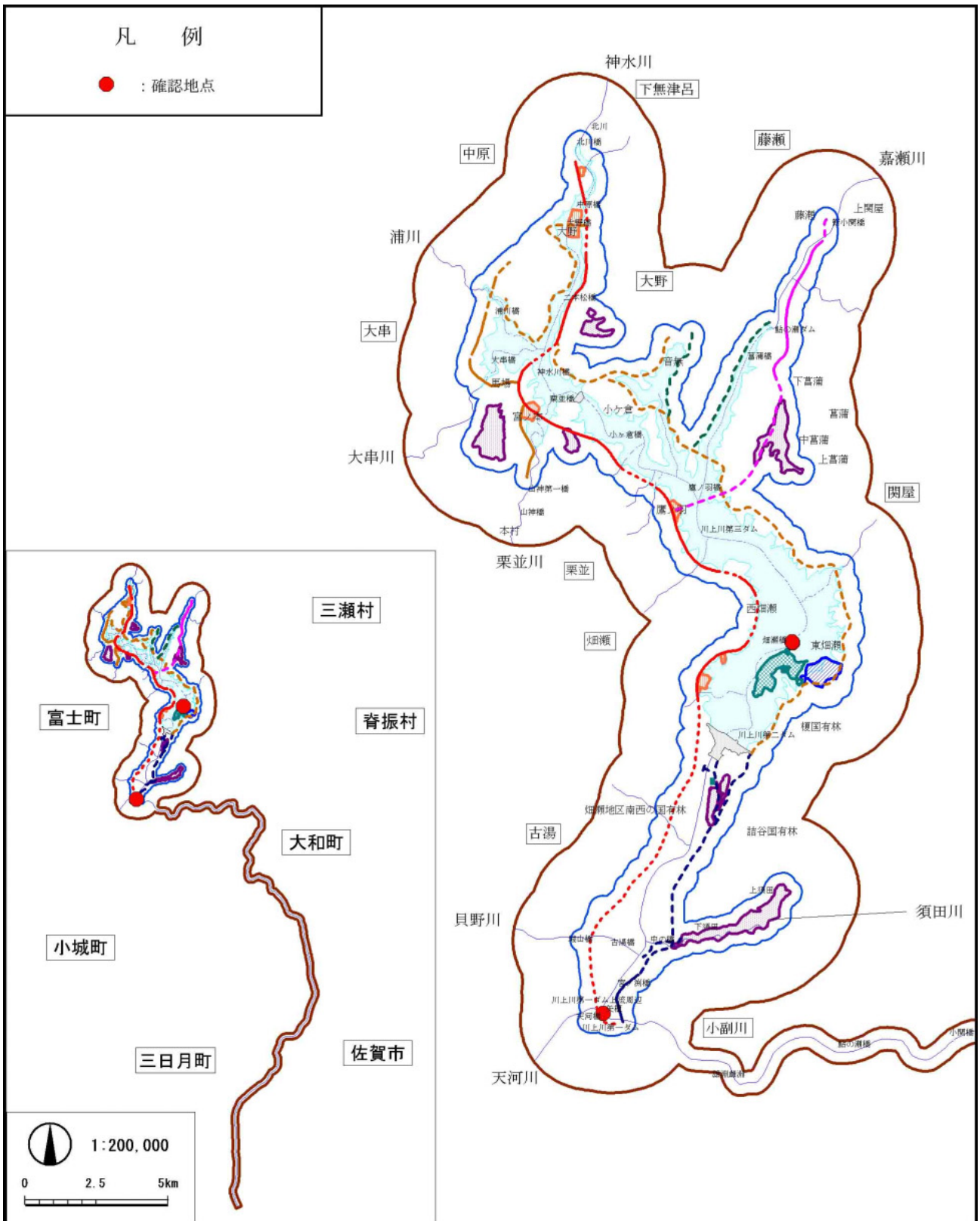
しかし、本種の主な生息地は、下流の多布施川であることから、本種の生息は維持されると考えられる。

また、多布施川は、工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化及び河床の変化の影響は想定されない。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。

凡 例

● : 確認地点



凡 例

- | | | | | | |
|--|------------|--|--------------|--|--------|
| | : ダム堤体 | | : 付替国道 | | : トンネル |
| | : 副ダム | | : 付替国道(未完成) | | : 橋 |
| | : 貯水予定区域 | | : 付替県道 | | |
| | : 原石山 | | : 付替県道(未完成) | | |
| | : 土捨場 | | : 付替町道 | | |
| | : 代替地 | | : 付替町道(未完成) | | |
| | : 施工設備 | | : 付替林道 | | |
| | : 対象事業実施区域 | | : 付替林道(未完成) | | |
| | : 調査地域 | | : 工事用道路 | | |
| | | | : 工事用道路(未完成) | | |



1:50,000

0 1 2km

図4.1.5-14(7)
トゲナベブタムシ調査結果と
事業計画との重ね合わせ図面

f-8) クロゲンゴロウ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-14(8)に示す。

本種は、大野地区の音無の西周辺1地点、浦川の松野集落北側周辺1地点、合計2地点で生息が確認された。

県内では脊振山地でのみ発見⁶⁾されており、産地限定⁶⁾であるとされている。

生態情報及び確認状況から、本種は、当該地域において、湿性地等に局地的に生息すると考えられる。

i) 直接改変

【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

・生息地の消失又は改変

本種が確認された地点のうち、浦川の松野集落北側周辺1地点は、対象事業の実施による直接改変の影響を受ける範囲に位置しない。

一方、大野地区の音無の西周辺1地点は、貯水池の出現により消失する。

このことから、本種の生息状況が変化する可能性がある。

ii) 直接改変以外

【工事の実施】

・工事の実施による水質の変化

本種の確認地点のうち、工事区域周辺及びその下流の確認地点は、直接改変の影響により、全て消失すると予測されることから、工事の実施による水質の変化の影響は検討しない。

iii) まとめ

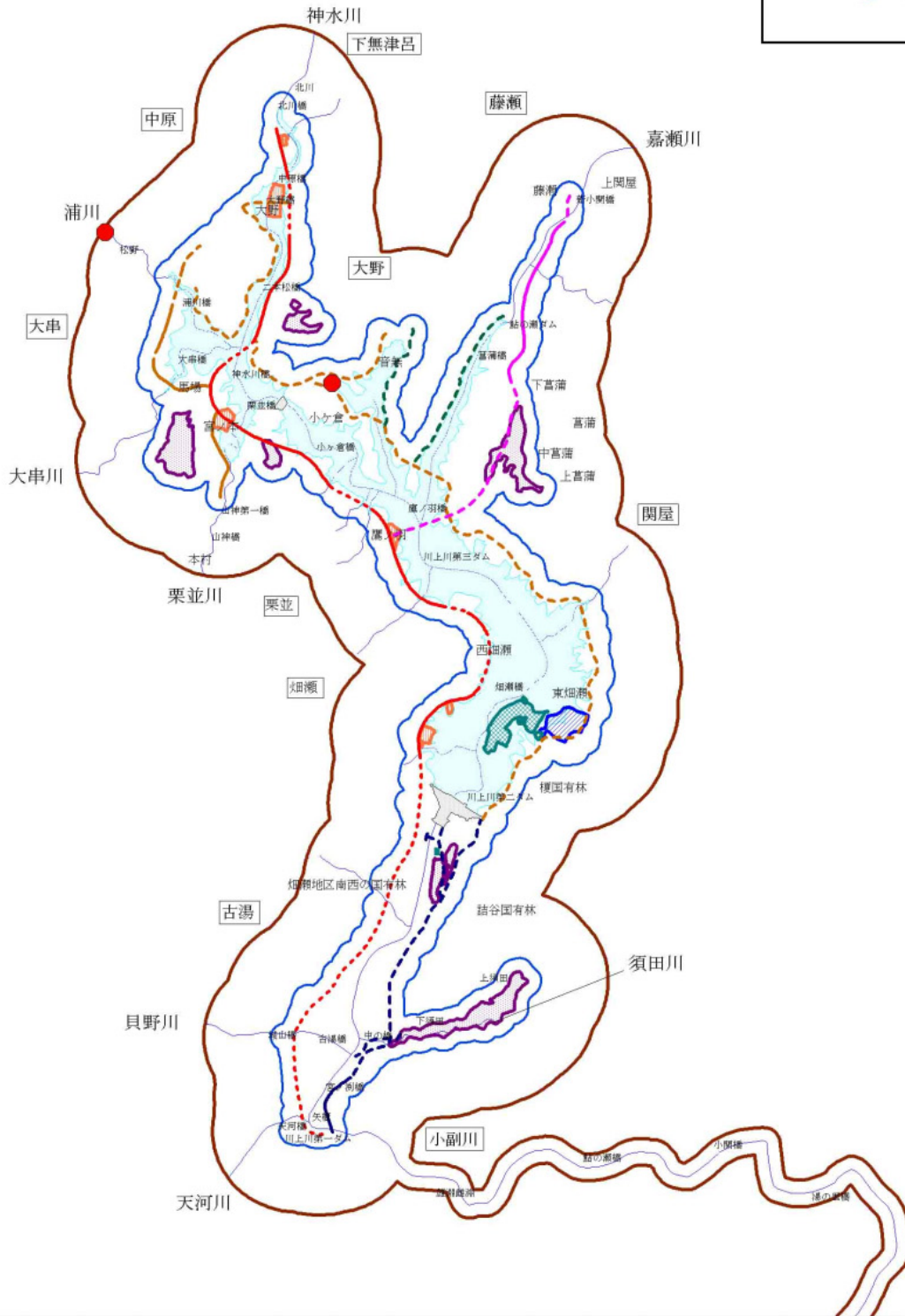
本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変の影響を受けると考えられる。

本種が確認された地点の一部は、対象事業の実施による貯水池の出現により消失する。






















しかし、影響予測に必要な情報が十分に得られておらず、予測結果に不確実性が伴うと考えられる。このため、今後の調査により情報を蓄積して再予測を行い、必要に応じて移植、生息環境の整備等の保全措置を検討していく。

凡 例

● : 確認地点



凡 例

-  : ダム堤体
-  : 副ダム
-  : 貯水予定区域
-  : 原石山
-  : 土捨場
-  : 代替地
-  : 施工設備
-  : 対象事業実施区域
-  : 調査地域
-  : 付替国道
-  : 付替国道(未完成)
-  : 付替県道
-  : 付替県道(未完成)
-  : 付替町道
-  : 付替町道(未完成)
-  : 付替林道
-  : 付替林道(未完成)
-  : 工事用道路
-  : 工事用道路(未完成)
-  : トンネル
-  : 橋



1:50,000

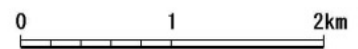


図4.1.5-14(8)
クロゲンゴロウ調査結果と
事業計画との重ね合わせ図面